

差別をなくすために 第488号

「おじいちゃんと私たちの大切な時間」

私の祖父は、車いすで生活をしています。体が不自由ですが、いつも私たちにやさしく笑いかけてくれる、家族みんなの大切な存在です。

私は毎日祖父の家に帰ります。中学三年生のいとこ、中学二年生の姉といとこ、小学六年生の私といとこ、小学三年生の妹。みんなでご飯を食べて一日の事を話したり、にぎやかで楽しい毎日をすごしています。

ある日、祖父が急に苦しそうな顔をして体調をくずしてしまい、救急車で病院に運ばれました。私たちはびっくりして、こわくて、不安でいっぱいでした。私たちは、お母さんの車に乗って、みんなで病院に向かいました。車の中ではとても静かで心配な気持ちでいっぱいでした。でもその時、いつもふざけているいとこのお兄ちゃんが、「大丈夫。絶対大丈夫。」と言ってくれました。その声はとても強くて、私たちみんなに勇気をくれました。

後から思い出すと、いとこのお兄ちゃんもすごく不安だったと思います。でも私たちや

芦屋町人権・同和教育研究協議会

▷問い合わせ 社会教育係 (☎223-3546)

芦屋東小学校6年 ^{とくだみのり} 徳田 実莉

家族を元気づけるために、強くなろうとしてくれたと思います。そのすがたを見て、私は家族の大切さと支え合うことの意味を学びました。

祖父が元気にもどってきた時、私たちいとも全員でもっと祖父と過ごす時間を大切にしようねと約束しました。私たちはいつも仲良しで、支え合いながら笑顔で過ごしています。家族みんなの気持ちが祖父の力になっていると感じます。

私はこれからも、祖父や家族との時間を大切にして、だれにでもやさしくできる人になりたいです。そして、だれもが安心して暮らせるあたたかい社会を作るために、努力していきたいと思います。

※この記事は、町内の小中学生が「人権」をテーマに作成した作文で、提出された作文の中から芦屋町人権・同和教育研究協議会が選考したものを掲載しています。

情報公開制度と個人情報保護制度の運用状況を公表します

芦屋町情報公開条例第14条（運用状況の公表）と芦屋町個人情報保護法施行条例第13条（施行の状況の公表）に基づき、公文書の公開請求、個人情報の開示などの請求とその結果を公表します。

●令和6年度情報公開状況

受付場所	総務課	議会事務局	農業委員会
公開	3件	0件	0件
一部公開	10件	1件	0件
非公開	2件	0件	1件
合計	15件	1件	1件

●情報公開審査請求件数 0件

●令和6年度個人情報開示請求件数 0件

●個人情報開示審査請求件数 0件

▷問い合わせ 庶務係 (☎223-3572)

夜間飛行訓練を行います

平日昼間の訓練に加えて、次の日程で夜間飛行訓練を行います。

【ジェット機】

▷とき 2月16日(日)・17日(月)の日没～午後9時ごろ

(予備日＝18日(火)・19日(水))

【救難ヘリコプター・救難捜索機】

▷とき 毎週(日)・(月)の日没～午後9時ごろ

※天候不良の場合(日)・(月)・(火)が予備日です。

【その他】

佐賀駐屯地のV-22オスプレイが夜間飛行訓練で芦屋基地へ飛来することがあります。

▷問い合わせ 航空自衛隊芦屋基地渉外室 (☎223-0981内線254)

芦屋歴史紀行

その三百五十七

芦屋歴史の里 新たな収蔵資料

芦屋歴史の里の収蔵品のほとんどが地域の皆さんからの寄贈によるものです。令和7年度も寄贈いただき、新たに資料を収蔵しました。今回から2回に分けて、令和7年度中に新収蔵した資料を紹介します。

●岡の湊（書籍）

本書は、昭和2（1927）年に芦屋教育会によって発行された芦屋の名勝や寺社、芦屋に伝わる伝説、芦屋町の偉人などを紹介した冊子。昭和初期の、芦屋の歴史文化の様子がよくわかる1冊です。



●朝鮮戦争記念碑拓本

芦屋基地内にある朝鮮戦争の記念碑の拓本です。朝鮮戦争勃発時、アメリカ軍が駐留していた芦屋基地は、約70万トンに



も上る物資の輸送拠点になりました。記念碑は、航空輸送に生命をささげた将兵たちのために、昭和28（1953）年に建てられたものです。

●西部炭田名士選集

本書は、昭和11（1936）年に発行された、筑豊炭田地域における石炭関連企業や石炭産業の重要人物などを紹介したものです。芦屋町出身で衆議院議員となった吉田磯吉氏や、その子吉田敬太郎氏の記事が掲載されています。また、日本鉱業株式会社のページには、大君炭鉱に関する記載がありました。当時の石炭産業の一端を知る貴重な書籍です。



●「トラ・トラ・トラ！」撮影セット模型

映画「トラ・トラ・トラ！」は、太平洋戦争における真珠湾攻撃を描いたアメリカ映画です。本作の日本ロケが、昭和42（1967）年に芦



屋町の海岸で行われました。当時、ロケを見に行ったという記憶がある人も多いのではないのでしょうか。本資料は、芦屋で行われた撮影セットをリアルに再現した模型です。この模型は、2月10日頃から芦屋歴史の里企画展示「映画『トラ・トラ・トラ！』芦屋ロケの思い出」の中で展示します。

（芦屋歴史の里）

編集後記

▼今号の表紙は自治区（高浜町）の餅つきです。参加していた大人たちの楽しそうな掛け声とは裏腹に、こどもたちからは、「きつい！重い！」との声が……。しかし、つき終えたこどもたちはとても楽しそうでした。大人もこどももみんな笑顔で、地域の人たちとの交流も良いものだなと改めて感じました。自治区の活動に取材でお邪魔することはなかなかありませんが、何う時は温かく迎えてもらえると、とてもうれしいです。（伊藤）

▼今号裏表紙に掲載しているKBCふるさとWishですが、令和7年11月3日から9日の1週間放送され、その風景を写真に収めています。KBCのリポーターがさまざまな場所を訪れて、町の魅力をたつぷりと紹介してくれました。私も現地で見えたのですが、それぞれのリポーターの個性に関心を持ったのと、インタビューされる芦屋町の人の話の上手さに驚きました。来年も実施される場合、広報あしやでお知らせしますので、楽しみにしてください。（篠塚）

